

## Pick Up!

### 幼児教育・保育の無償化が始まります



問 保育課 ☎(22) 2111(内線292)



10月1日から幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳までの全ての子どもたちの利用料が無償化されます。

- ・無償化の期間は、満3歳になった後の4月1日から小学校入学前までの3年間。
  - ・通園送迎費、食材料費、行事費などはこれまでどおり保護者負担。
  - ・幼稚園は月額上限25,700円まで無償化の対象。
- また、住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子どもたちについても、利用料が無償化されます。
- 幼稚園に通園中の児童および認可外保育施設や幼稚園の預かり保育を利用する児童は、認定が別途必要となります。
- 詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。

ページ

03 キラリ★中野のチカラ

04 特集  
私たちの暮らしのなかの水

09 信州なかの日和 / 市長のわくわくレポート

10 生き生き！健康メモ / 保健だより

12 子育て案内

13 子育て支援センター行事予定 / わが家のアイドル

14 ションションまつり

16 各区秋祭りスケジュール

18 まちかどトピックス

20 暮らしの情報掲示板

26 人事行政

28 文化なかの

30 図書館情報

31 博物館だより / 学校統合準備委員会だより / 信州型コミュニティスクール活動紹介

32 夢 / 広報クイズ

### 人口の動き

面積：112.18km<sup>2</sup>  
 人口：42,442人 (-17)  
 男：20,545人 (-16)  
 女：21,897人 (-1)  
 世帯数：15,726戸 (-19)  
 【2019年8月1日現在】  
 ( )は前月比。  
 2015年国勢調査を基に推計。



### 今月の表紙



蛇口をひねればおいしくて安全な水が出てきます。私たちがいつも当たり前のように使っている水道水は、普段どのように管理され、どうやって私たちのもとに届いているのでしょうか。

今回の特集ではそんな「当たり前」を生み出すためにしていることや、中野の水道水の水源などについてご紹介しています。

大切にしたいのは、  
地域のみんなできつくり、一緒に歌うこと



-Introduction-

中山晋平物語  
～カチューシャの唄～

中山晋平の若き日の姿を室内楽で描くオペラ（音楽劇）で、作曲家を志して上京した晋平が、島村抱月の劇団のため「カチューシャの唄」を生み出すまでの苦労を描いた作品。

プロの音楽家や演出家が多く出演・参加するほか、市民からオーディションによって選ばれた人が主要な役を演じる。また地域の皆さんにより結成された「信州なかの音楽祭合唱団」、日野・平野・平岡小学校合唱団も参加するなど、地域参加型の作品となっている。

作品は11月4日、中野市市民会館ホールにて上演。



▲大人から子どもまで一緒になってのコーラス練習。プロ指揮者の指導のもと、練習会場に一体感が生まれる。



▲総監督で作曲家の岩河智子先生。作品の中で晋平と周囲の人々を現代から未来へつなげる視点で描く。

編作オペラ

「中山晋平物語」

～カチューシャの唄～

インタビュー：藤森 京子  
(オペラ演出助手)



▲HP



▲facebook

「物語の中では晋平先生の代表作が次から次へと歌われます。晋平節と呼ばれる親しみやすい曲調を、苦悩しながらつくりあげていく過程や物語の根底に流れる島村抱月と松井須磨子の深い愛も見どころ。ご覧いただければ、晋平作品を次の世代へ引き継ぐ気持ちを新たにできると思います。ぜひご鑑賞ください」。

「もともとこの作品は、プロの演者によって14年前に札幌や東京で上演され、大好評を得た作品でした。今回の上演にあたり私は『地域の出演者で作る』『プロの音楽家と地域の子どもから大人までが一緒になって演奏する』ことを大切にしたいと思いました。それを総監督の岩河先生に伝えたところ趣旨を受け入れてくださり、合唱中心の『中山晋平物語・中野バージョン』として作り替えられたのが、今回の作品です」。

藤森さんは市民参加の編作がなされた晋平作品を歌い、聴き、味わう中で、晋平という作曲家の魅力を改めて認識しているという。

「そう紹介してくれたのは物語の演出助手を務める藤森京子さん。この作品を晋平先生のふるさと中野市で上演するため、音楽祭実行委員に立候補し、3年もの月日をかけ実現に漕ぎつけた。」

「信州なかの音楽祭は、市民の皆さんが主体となり企画運営する音楽祭で、今年で4回目の開催となります。この音楽祭プログラムの一つとして上演されるのが『中山晋平物語カチューシャの唄』です。」